



学校だより
第21号
(令和3年度)

花っ子

那覇市立垣花小学校
校長 宮城 弘之
令和4年2月18日

教育目標「夢と希望を育み どの子も楽しく学び 生き生きと活動する垣花っ子の育成」

“「新体育館」完成間近！”

待ちに待った新体育館（プール）の完成が間近となりました！2月25日には教育委員会等関係者へのお披露目の「内覧会」を行い、2月末には諸点検を経て学校へ引き渡しの予定です。

旧体育館の解体工事から新体育館の完成まで約1年半掛かり、その間児童の皆さんには大変不便を強いました。この度素晴らしい体育館が完成する運びとなり、その喜びを花っ子の皆さん、保護者の皆様と分かち合いたいと思います。

「落成式」についてはコロナ感染防止の観点から、校内のみで児童会を中心に開催したいと考えております。保護者皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、3月24日の「卒業式」は新体育館で開催いたしますので、6年生の皆さん楽しみにしてください。花っ子の皆さん、これからは新しい体育館とプールで、体育の学習をはじめ各行事の開催などで、体をたくさん動かしたり、発表会などで思い出をたくさん作ったりしてほしいと思います。建設等関係者の皆さん、ありがとうございました！



“壺屋博物館出前講座”

2月1日（火）は、3年生の社会科授業の一環で「壺屋焼物博物館出前講座」が行われました。児童の皆さんは、昔の道具（竹ざる「パーキ」、鍋「シンメナーベ」など）に触れ、昔と今の道具の移り変わりを肌で感じていました。

また、博物館の学芸員がスクリーン（写真など）を使って「那覇市の移り変わり」について講座を行い、3年生は那覇市の歴史や文化がどのように移り変わってきたかを学びました。

今年度市制70周年を節目に、出前講座を通して子どもたちは益々那覇市に愛着をもってほしいと願います。

“児童の活躍”

4年生花岡 蓮さんが、沖縄県文学振興会主催の「おきなわ文学賞一般文芸俳句部門」で“奨励賞”を受賞しました。小桜の塔（対馬丸慰霊碑）でオオゴマダラが舞う様子や東京オリンピック県人初金メダリスト喜友名諒選手の迫力ある演技に感動したこと、蓮（自分の名前）の由来を詩にするなど蓮さんの感性豊かな表現が俳句から伝わります。素晴らしい作品です！

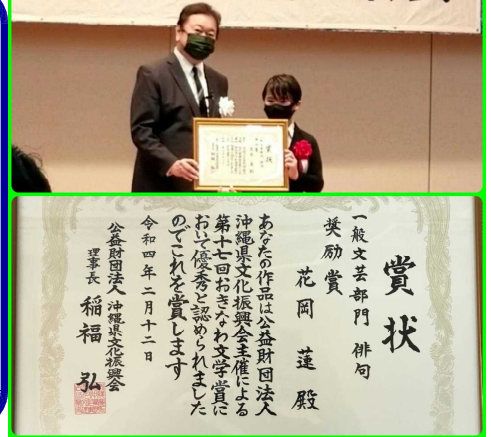
おめでとうございます！！



校庭の寒緋桜
といっぺー（コ
ガネノウゼン）
の花が今年も
見事に咲いま
した！
花っ子の皆さ
ん、春はもう
すぐですよ。

小桜の塔オオゴマダラと夏の空
汗とゆげ錦をかざる初メダル
泥水の中に根をはり蓮の花

“なわ文学賞”表彰式



～ お 願 い ～
「まん延防止等重点措置」（～2/20）が解除されますが、県内の感染者数は先週（2/6～2/12）の一日平均が500人超となっています。引き続き、感染防止対策の徹底をお願いいたします。